

(申立人用)

※事件の種類により提出していただく書類は異なります。

注 意 書

- 1 申立書は、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、その写しを、相手方に送付します。提出の際には、相手方への送付用として申立書の写し(コピー)も提出してください(写しは、相手方の人数分だけの部数が必要となります。)。上記のとおり、申立書の写しを相手方に送付しますので、申立人の住所を相手方に知られると、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある場合は、申立書には相手方に知られてもよい場所(同居中の住所など)を記載してください(ただし、裁判官の判断により、現在の住所の申告を求めることがあります。)。相手方の住所は相手方が実際に住んでおられる住所を記載してください。
- 2 事情説明書は、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。その前提で、書くことができる範囲で記入してください。
- 3 送達場所の届出書は、裁判所から書類を送付する場所を記載してください。申立書の記載の住所と別の場所にすることも可能です。なお、相手方に知られることであなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのあるような場所は、できるだけ避けてください。どうしてもその場所しかない場合は、必ず、「非開示希望の申出書」欄を記載してください。
- 4 進行に関する照会回答書は、調停を円滑に進めるために記載していただきます。裁判所限りの書面ですので、相手方に見られることはありません。
- 5 その他の提出された書類については、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。提出される書類で、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある情報は、自分でその部分を黒塗りするなどして読み取れないようにしてコピーしたものを提出してください。また、自ら作成する書面に、そのような情報を記載しないようにしてください。
- 6 マスキングもされず、非開示を希望する旨の書面も添付されていない書面について

て、裁判所が、相手方に知られるとあなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれのある情報が記載されているかを確認することはありませんし、相手方から申請があれば、原則として、相手方に見せたり、コピーをとらせたりします。そのような情報は自分で管理し、相手方に知られることのないように十分注意してください。

- 7 申立人又はその法定代理人を特定する事項については、相手方に知られることにより社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれがある場合、秘匿申立て又は非開示希望の申出をすることができます。秘匿申立てには、別途手数料等が必要となります。

秘匿申立て又は非開示希望の申出について、詳しくは書記官にお尋ねください。

送達場所の届出書

★記名押印のうえ、太枠内部を記載（該当する□にチェック）してください。

令和 年 月 日

氏名 ⑩

届け出た場所で送達ができなかった場合、あなたに書類が現実に届かないまま手続が進行する可能性がありますので、届出場所は慎重に選んでください。

<input type="checkbox"/> 申立書記載の住所でよい。	<input type="checkbox"/> 秘匿事項届出書記載の住所と同じ。 <small>※秘匿決定の申立てを行っている方以外はチェックしないでください。</small>
<input type="checkbox"/> それ以外の送達場所を指定する（以下に記入してください。）。	
〒 -	
この送達場所は	<input type="checkbox"/> 現住所・居所
	<input type="checkbox"/> 自分が住んでいない住所→受け取ってくれる人を下の送達受取人欄に必ず記載してください。 (送達受取人：)
	<input type="checkbox"/> 勤務先の住所（勤務先名：)
<small>(注意) 届出場所が変更になった場合、変更の届出をしないと、変更前の届出場所に郵便が送られ、送達が完了したことになる場合がありますので、必ず「送達場所の変更届出書」を提出してください。</small>	

上記記載のうち、他方当事者に知られることで、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障が生じるような情報がありますか。

- ありません。→記載終了です。
- あります。 →下記のとおり非開示希望の申出をします。

他方当事者に知られることで、あなたやお子さんなどが社会生活を営むのに著しい支障があるという部分に、マーカー等で色付けして特定してください。

非開示希望の申出書

上記送達場所の届出書に記載した内容のうち、マーカー等で色付けした部分については、他方当事者に非開示とすることを希望します。

非開示を希望する理由（具体的に記載してください。）

※裁判所記入部

非開示と 扱う・扱わない 令和 年 月 日 裁判官印

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には具体的な事情等を記入して、申立ての際に提出してください。
 なお、これは相手方に見せることのない書面です。

平日昼間に連絡のとれる電話番号	【携帯】 — 【自宅】 — あなたに電話をかける際には <input type="checkbox"/> 携帯優先 <input type="checkbox"/> 自宅優先
1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合はまともらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> ない。(その理由をチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他 ()
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じらると思う。 (理由等があれば、記載してください。) <input type="checkbox"/> 応じないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 (理由等があれば、記載してください。) <input type="checkbox"/> 進められないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。
4 この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。
5 相手方の暴力等がある場合には、記入してください。	1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る・暴言をはく <input type="checkbox"/> 物を投げる <input type="checkbox"/> 殴る・蹴る <input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す (1) それはいつ頃のことですか。 ----- 頃 から ----- 頃 まで (2) 今までにどのくらいありましたか。 ----- 回 2 相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある (ケガや症状等の程度) 3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定はない <input type="checkbox"/> 申し立てる予定である <input type="checkbox"/> 申し立てたが、まだ結論はでていない <input type="checkbox"/> 申し立てたが、認められなかった <input type="checkbox"/> 認められた ※保護命令書の写しを提出してください。 4 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるう心配はない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるう心配がある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に刃物を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。
6 調停期日で都合の悪い日等があれば書いてください。	申立人の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 都合の悪い日 曜日 午前・午後 (すでに都合が悪いことがわかっている日→) ----- 相手方の <input type="checkbox"/> 希望日 曜日 午前・午後 <input type="checkbox"/> 都合の悪い日 曜日 午前・午後 (※分からなければ記載しなくてもかまいません。)
※ 調停は平日の午前または午後に行われます。	
7 裁判所に配慮を求めることがありますか。	

※当裁判所では、調停期日に当事者双方に同席していただいて手続の説明を行う場合があります。相手方と同席することに支障があるときは7にその旨を記載してください。

書類の提出とマスキング方法

提出書面の種類

あなたの主張、言い分、意見や希望などをまとめた「主張書面」やあなたの主張や言い分を裏付ける「資料」があります。あなたから提出される「主張書面」や「資料」については、相手からの希望があると、相手にお見せしたり(「閲覧(えつらん)」と言います。)、コピーを認める(「謄写(とうしゃ)」と言います。)こととなりますので、ご注意ください。

主張書面を提出するときの注意点

記載例

令和〇年(家イ)第〇〇〇〇号

令和〇年〇月〇日

主 張 書 面

札幌家庭裁判所 調停〇係

宛

(氏 名) ⑥

1 離婚について

.....
.....
.....

2 子の親権について

.....
.....
.....

3 財産分与について

.....
.....
.....

A4の用紙に記載してください。

ここに、主張(言い分・意見・希望など)を記載してください。

相手に見られることで社会生活を営むのに著しい支障が生ずる情報は記載しないでください。

この部分は、としろとして3センチ程度空けておいてください。

資料(証拠)を提出するときの注意点

- 主張の裏付けになる資料(証拠)は、**原本は提出しないで、必ずコピーを提出してください。**
- 資料の原本の大きさに関わらず、A4の用紙にコピーをとってください(余白が大きくてもかまいません。)。資料の原本がA4より大きい場合は、A3の用紙にコピーをとってください。

●【重要!】

提出する書面は、相手に渡すことを前提に作成してください。

相手に見られることで社会生活を営むのに著しい支障の生ずる情報が記載されている場合、マイナンバーが記載されている場合は、**コピーを取り、コピーの該当部分を黒く塗りつぶした上で再度コピーして、読めない状態にしてから提出してください。**※単にマスキングテープを貼付しただけのものは提出できません。※原本には手を加えないでください。

裏面もご覧ください

マイナンバーにご注意ください！

- ① **確定申告書・源泉徴収票・住民票はありますか？あればマイナンバーが書かれていないか、もう一度確認してください。**
- ② **裁判所はマイナンバーを受け取れません。マイナンバー部分を黒くぬったものをコピーして提出してください。**

確定申告書の1枚目のここにマイナンバー！

令和 年 月 日 令和 0 年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

FA2200

住所 〒 個人番号 生年月日

フリガナ 氏名

職業 屋号・番号 世帯主の氏名 世帯主との続柄

種類 青色 分離 国出 損失 確定 特農の特典の表示 整理番号 電話番号 自宅・勤務先・携帯

事業種別 (単位は円) 課税される所得金額 (29-30) または第三表上の30に対する税額 または第三表の30

第一表 (令和二年分以下)

確定申告書の2枚目のここにマイナンバー！

配偶者や親族に関する事項 (20~23)

氏名	個人番号	続柄	生年月日	障害者	国外居住	住民税	その他
配偶者				障 特障	国外 年障	向 別居	調整
明大昭平令				障 特障	国外 年障	(16) 別居	調整
明大昭平令				障 特障	国外 年障	(16) 別居	調整
明大昭平令				障 特障	国外 年障	(16) 別居	調整
明大昭平令				障 特障	国外 年障	(16) 別居	調整
明大昭平令				障 特障	国外 年障	(16) 別居	調整

事業専従者に関する事項 (55)

事業専従者の氏名	個人番号	続柄	年月日	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与(控除)額

住民税・事業税に関する事項

住 非上場株式の少数配当を含む配当所得の金額 非居住者 配当割額控除額 株式等譲渡所得割額控除額 給与、公的年金等以外の所得に係る住民税の徴収方法 (特別徴収 自公不納付 (特別徴収対象)) 都道府県、市区町村への寄附 (特別徴収対象) 共同基金、日赤 その他の寄附 都道府県条例指定寄附 市区町村条例指定寄附

証明書など申告書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

(個人番号)

(役職名)

(フリガナ)

名

支払金額 給与所得控除後の金額 (調整控除) 所得控除の額の合計額 源泉徴収額

除 (特別) 除の額 控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く) 16歳未満扶養親族の数 障害者の数 (本人を) 非居住者である親族の数

生命保険料の控除額 地震保険料の控除額 住宅借入金等特別控除額

源泉徴収票のここにマイナンバー！

住民票

世帯主 山田 太郎

住所 ○○市○○区○○ ○○丁目○○番地○○号

氏名 山田 太郎

1 個人番号 123456789012 住所を定めた日

住民票コード 11234567890 届出をした日

転入前住所 ○○県○○市××区××丁目××番地××号

本籍 ○○県△△市△△区△△丁目△△番地△△号

備考

住民票のここにマイナンバー！